

# 改善プログラムシート

## 施設の目指す姿

市民がライフステージの中でいつでも学習活動が行えるように支援し、豊かな生涯学習社会の実現に資する施設にします。そのために、生涯学習に係る全体計画の立案及び推進、関係機関との総合調整、生涯学習情報の集約及び提供、学習相談を行い、市民の生活課題の解決を図る講座を実施します。

施設名

まちだ中央公民館

担当部課名

生涯学習部公民館

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	若年層を含めた幅広い年齢層の潜在利用者のニーズに対応します。	2011年10月 検討開始	若年層の利用者を増やすことにより、生涯学習の機会を充実させることができます。	潜在利用者等のニーズを調査・研究し、幅広い年齢層の利用を促進するために、若年層を対象とした事業の見直しを行います。庁内外の各種機関との連携を図り、情報収集を行うことにより、若年層向けの新たな魅力ある企画を検討・実施していきます。
②	幅広い年齢層に受け入れられる名称を検討します。	2011年10月 検討開始	若年層を含む、潜在的な利用者にも認知され、多様な市民に親しんでもらうことができます。	生涯学習センターとしての新たな機能を担うことをきっかけとして、幅広い世代に親しんでもらい、使いやすい施設にふさわしい名称を検討します。
③	公民館と市民大学の事業を総合化し、新たな生涯学習拠点として、町田市生涯学習センターを設置します。	2012年4月	・学習機会、情報提供機能を充実させます。 ・わかりやすい学習情報を提供します。	生涯学習情報の集約・発信機能を充実させることにより、町田市行政全体や庁外の情報が得やすくなります。全体計画を立案し、関係機関との総合調整を行うことにより、市民に生涯学習を体系的に提供できるようになります。各種の専門機関と連携することで、多様化した学習ニーズに対応できるようにします。課題解決に向けた相談機能を充実させます。
④	他機関(大学・民間企業等)との連携を深めます。	2013年3月	・他機関と連携することにより、専門的な講座が受講できるようになります。 ・連携事業実施件数 ＜実績値＞2010年度13件 →＜目標値＞2012年度18件	多様化した市民ニーズに対応するためには、生涯学習部内での事業の他、「相模原・町田大学地域コンソーシアム」を始めとする大学・民間企業等や庁内の多様な施設・人・情報などの資源を有効活用する必要があります。また、連携先を募集する仕組みを作り、連携事業を推進します。
⑤	学習相談機能を強化するため、生涯学習や社会教育についての専門性を持った職員を配置します。	2012年3月	学習相談機能を充実させます。	現在、相談業務に携わる社会教育主事の資格を有する職員の不足が課題になっており、市民の学習相談に対応できる仕組みを構築することが求められています。生涯学習センター設置に向け、資格を有する職員を養成し配置します。
⑥	施設使用料について有料化による施設利用の適正化を図り、円滑に運営します。	2011年8月 から実施	・負担の公平性を確保します。 ・不均衡を是正します。	まちだ中央公民館の施設使用料については、従来、社会教育団体の利用を原則無料としておりましたが、公民館利用者と同種の施設利用者、非利用者との間の負担の公平性を確保するために、2011年8月から有料化を実施しました。